



(写真：上野先生の似顔絵)

上野研究室には現在、学部4年生3人と大学院2年生1人が所属しています。担当教員の上野ひろ美先生は、子どもを捉える教師(保育者)のまなざしや保育のあり方について教育学的観点から研究されています。また、研究以外の分野でも大学の内外で活躍されています。

ゼミの時間は真剣に各々の研究課題に向き合いつつも、和気藹々とした雰囲気です。学生の研究テーマは多岐ですが、ゼミでの議論を通じて自分達の研究の深まりを感じながら取り組んでいます。研究活動では何度も壁に突き当たってしましますが、先生、先輩、仲間に支えられながら一歩ずつ前進しています。社会に出てから自分のテーマを持って研究していく機会はそうありません。だからこそ、学生である今、精一杯取り組みたいと思います。そんな思いを抱くことができるのも、先生の厳しくも暖かい指導があってこそだと感じています。

記事：小林 浩之(大学院教育科学専修2年生)  
北川 雄介(教育・発達基礎コース4年生)

硬式野球部は現在、選手29名、マネージャー6名で活動しています。練習は週4回と少ないながらも主将を中心に練習メニューを考え、日々取り組んでいます。4.5月に行われた春季リーグでは、2部優勝1部昇格を果たしました。

そして今、私達は8月20日～23日に行われる「近畿国立大学体育大会」と8月末から始まる「秋季リーグ」に向けて練習しています。近国では昨年の3位以上の成績を、秋季リーグでは、1部残留・神宮大会出場を目指したいと思っております☆

大学関係者の方々、OBの方々等、応援してくださる方に感謝しつつ、1部で頑張ります！



## 練習

月・木(16:30～20:00)、水(14:30～19:00)、  
土(9:00～13:00)  
奈教グラウンドでやっています。

記事：硬式野球部 寺井宏文(生涯学習コース3年生)

## 学生企画活動支援事業

平成19年6月6日(水)に学生企画活動支援事業のプレゼンテーションが行われ、13企画の各団体が参加しました。参加団体はパワーポイントでプレゼン資料を作成し、それぞれの企画内容を熱心に発表しました。昨年度から審査員には教職員の他、学生も参画することに見直し、今年度は自治会から2名加わりました。また審査基準を事前に公表を行ったうえで、細部にわたった審査が行われました。審査の結果9企画が採択され、採択されなかった4企画についても、活動内容の有意義さと教育的効果が評価され、側面的支援が行われることとなりました。

## 採択事業

- 今、演劇から解き放ち、新しい自分の「○○○」に出逢う！
- わくわくワールド 親子でエンジョイ「造形ひろば」
- ☆Shall We オペラ？！☆～あなたと私で作るオペラ～
- 障害を持つ子どもとその家族が安心して楽しめるウィンターキャンプ～子ども同士より深いかわり合いを目指す～
- Let's リサイクル
- 楽器ふれあいコンサート
- 世界の子とつながろう  
～世界の子どもの写真・遊びを通じて～
- 第3回 京終☆ビバ！！
- 身近な自然科学実験教室@奈良教育大学

## 認定事業

- BLACK PLANET
- 自作PC相談室
- art navi あーとなび
- 宮崎県椎葉村の神楽の調査研究を通じての地元の方々との学術文化的交流

## 学生企画活動支援事業とは

学生企画活動支援事業は、学生が自ら企画し、実施する活動で優れたものに対し、大学として経済的支援を含む各種支援を積極的に行い、学生自身に実体験させることにより、学生の企画力・実践力・実行力及び社会性を身に付けさせ、もって優れた人間として、教員として社会人として成長することを目的としています。

## 『日本留学事情』

本学在学中の留学生に日常生活で感じたことを書いていただきました。

## 私から見た日本の風情

陳少鵬  
(中国)

日本に来てもう三年目になります。岡山で二年間、大阪で一年間、そして今年奈良へ参りました。その三年の間に、ほかに福岡、広島、高松、倉敷、名古屋、長野へ行って見ました。そこらでほんの少しの時間しかいれなかったのですが、町の様子や人の風情は私の印象に残りました。いずれもきれいな、特色のある町でした。

人は感情のあるものです。外国生活の初体験だった岡山、二年間もただけに、もう自分にとって既に第二の故郷になりました。「晴天天国」と呼ばれている岡山は、いつも町の中が明るくて、いい気分になれるそうです。単に個人的非公式な統計データですが、優しい人が、99.9%を占めています。岡山の大名物は桃です。岡山駅に降りると、桃太郎の像が立っています。その向こう側の大通りは桃太郎大通りと呼ばれます。岡山弁についてですが、代表的なのは否定表現をするときに、「ない」を「ん」と言い換えることです。また、「すごい」をあまり言わずに「デレー」と言います。それ以外にもまだまだおもしろいことがいっぱいあります。



一方、「おおきに」「すまへんな」「何でやねん」単にこういったテンションの高い表現から見ると、大阪の雰囲気はつねに楽しそうということが難なく分かるでしょう。遊園地、ゲームセンター、商店街はたくさんあって、食べ物屋さんもどこへ行ってもあります。何でもあり大阪はさすが都会やなと感じました。

同じ関西圏にある奈良は日本文化の心臓として毎年国内外の多数の観光客が訪れています。その古香古色の建物は見ただけで、ほれてしまうでしょう。いつも静かな、環境がいい奈良は観光、住居、勉強にもっともふさわしい場所だと思います。この先4年間をここで過ごすでしょうし、奈良の楽しい思い出を今後作っていきましょう。